

外国語教育メディア学会 (LET)

The Japan Association for Language Education and Technology

第51回(2011年度) 全国研究大会

The 51st Annual Conference

「外国語学習での自律性と継続性」

Autonomy and Sustainability in Language Learning

<http://LET.lang.nagoya-u.ac.jp>

主催 外国語教育メディア学会 (LET)

会長 竹内 理

大会会長 尾関 修治

後援 文部科学省 (申請中)

愛知県教育委員会 (申請中)

期日 2011年8月6日(土)～8日(月)

会場 名古屋学院大学 名古屋キャンパス 白鳥学舎

〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

TEL: 052-678-4080

事務局 中部大学語学センター 小栗成子研究室内

〒487-8501 春日井市松本町1200

TEL: 0568-51-6649 FAX: 0568-51-1842

お問い合わせは大会サイト(上記)の「お問い合わせと原稿送信」よりお送りください。



プログラム

8月6日(土)

13:30-16:40: ワークショップ

13:00-: 受付: 曙館1階ホール

13:30-15:00

Rによる教育データ分析入門/英語の動画教材を作る・配信する! 入門編/Moodle NetworkによるMoodleサイト間のリソースと活動の共有/R 最速入門

15:10-16:40

Rによる教育データ分析入門(続き)/教師のためのGoogle使いこなし入門/外国語教育データ分析で留意しなければならないこと: 学習者の実態をより伝え・より理解するための方策

受講料: 1コマ1,000円。事前申し込みが必要です。各ワークショップの詳細・申込方法は、大会サイト(<http://LET.lang.nagoya-u.ac.jp>)をご覧ください。

17:30-18:00: 開会式: 201教室

18:00-19:30: 市民フォーラム: 201, 202教室

ALTと語る英語教育のいま: 小中学校の現場から

コーディネータ: 高橋 美由紀(愛知教育大学)

パネリスト: 河木 恵美子(豊田市教育センター・元豊田市立古瀬間小学校校長)/スミレ・ブラックバーン(岡崎

市教育委員会所属ALT)/ピーター・リチャードソン(アルティアセントラルスーパーバイザー・元小牧市ALT)

8月7日(日)

9:30-: 受付: 曙館1階ホール

10:00-17:00: 賛助会員展示: 2階、3階ホール

10:00-11:20: 基調講演: 201, 202教室

第2言語の文構造の獲得—日本語学習者の文理解のメカニズム: 玉岡 賀津雄(名古屋大学大学院)

11:40-13:20: 公募シンポジウム

多様な大学環境における英語eラーニング—学習者アンケートからみえてくるもの—/小学校外国語活動における電子黒板教材の新たな開発への視点

12:10-13:20: 賛助会員デモンストレーション

13:00-16:00: ポスターセッション

多読指導と授業内活動のオーラル・インタープリテーション実践/言語テストスコアにおけるカオスの時系列の短期予測/メタ認知モニタリングトレーニングが大学生の英語の受容的能力に与える影響/アーギュメント重複による学習者英作文の結束性の測定について—Coh-Metrixを利用して—/英語未知語復唱に与える絵と文字の影響: 小学生に対する実証的検討

13:30-16:40: 研究発表・実践報告

201教室: CALL教材を利用したチャンク単位での音読訓練が読解速度と読解効率に与える効果/初級ドイツ語を学ぶ日本人大学生のシンタクス—LMSデータに基づく中間言語分析—/CALL教材におけるスピード調節機能付チャンク提示法に関する実証研究/Preparing and reviewing conversations by using the Glexa system/プロジェクトIRC—多読の授業における互恵的な読書環境の創出—

202教室: “The CMU Pronouncing Dictionary”の発音データを英語教授用資料として利用する/Web上のFlash教材によるチャンク読みシャドーイング訓練の効果/オンラインを利用したコミュニケーション・タスクの取り組み/オンライン異文化交流における「つながり」のネットワーク分析の試み/モバイルを利用したブレンド型の英語教育と評価

203教室: 大学英語教育における映画の様々な活用法—『モナリザ・スマイル』を中心に—/初習外国語授業

におけるスライド教材提示の円滑化と多目的利用 — データベース・ソフトウェアを応用したロシア語教育実践事例／音声に特化したリスニングテスト作成の基礎研究：ディクテーションとインタビューによるリスニング力調査／字幕付き視聴覚教材の使用による聴解力育成効果—音声知覚に焦点をあてて—／DVDを活用した英語教材開発の試み—Challenging BBC on DVDの作成にあたって—

301教室：小学校外国語活動における児童の動機づけと情意要因に関する実証研究：言語専門家の招聘頻度に関して／異文化理解を目指した英語聴解力養成用CALL教材の開発／小学校英語活動と中学校英語教育とのスムーズな接続に対するTPRの有効性に関する実証的研究／高校英語初級学習者のための語彙力養成用CALL教材の開発／中高教職課程における英語発音指導の扱い—近畿地方のシラバス調査—

302教室：NNS教師は何故L2授業でL1使用を選択するのか／大学生が考える自己の英語能力と社会で必要な英語能力とは—大学生の意識調査から—／教室内の人間関係と英語力の関係／協働学習を取り入れた英語ライティング指導の可能性／シャドーイングの自動評価の妥当性に関する観点別評価面からの考察

303教室：メタ認知を活性化させる電子辞書方略指導の試み／英語による災害情報発信の重要性と英語教育の関わりについて／プレゼンテーション中心授業が理工学部学生に与える情意的影響の検証—理想の自己像とSDTの観点から—／海外英語協働研修：複雑な現実の状況から学ぶ事／タスク活動が英語学習者の動機付けとなり得るか？—英字新聞・TVニュース/TVコマーシャルの作成を通して—

304教室：自己不一致理論に基づいたL2 selfの尺度作成：L2 selfと動機づけ、国際的志向性との関係／英語教育における自己調整学習に関する質問紙の作成／EFL環境下におけるL2 Motivational Self Systemの検証：英語専攻者と非専攻者を比較して／ネットワーク分析を応用した探索的学習行動分析／誘出タスクの違いがもたらす発話への影響

17:00-17:45：総会・学会賞授与式：201教室

18:00-19:30：懇親会・学会賞受賞者挨拶：フードバー

8月8日(月)

9:30-：受付：曙館1階ホール

10:00-15:00：賛助会員展示：2階、3階ホール

10:00-12:30：研究発表・実践報告

201教室：携帯電話を利用したオリジナル英語学習用ポッドキャストの配信と授業での活用／アカデミックイングリッシュ学習用CALL教材の開発とその改善および評価／スマートフォン向け語彙学習ツールの開発と評価／データベース・ソフトウェアの教育利用の可能性—例文提示ツールの仕組みを中心に

202教室：iPad、iPhone、iPod touchを利用したモバイルサーバ発信動画・音声試験／オリジナルソフトを活用した日本人英語学習者のイントネーション学習による効果／孤立型言語の自律学習システムの提案：ベトナム語CALL教材の開発／Moodleを利用した公開・協働型学習導入の試み

203教室：大学生学習者による「学びの報告」：英語授業中の活動と気づき／シャドーイングプラクティスのライティング力向上への有効性／L2音声提示文の統語的曖昧性の解消におけるシャドーイングの効果／聴覚単語復唱が日本人英語学習者の音声処理に与える影響

301教室：技術文献コーパスを活用した英語技術文書作成支援Webアプリケーション開発／TTSを利用した音声評価システムによる自律的発音教育の実践について／コンピュータを利用した英語発音練習におけるローパス・フィルターの効果

302教室：小学校英語活動指導者養成授業における発音指導実践報告／英語スピーキングテストにおける対話者の存在がスピーチパフォーマンスに与える影響／女性文学を取り入れた日本人学生のための英語教材開発／小学生の外国語活動における動機づけモデル

303教室：英語発音の習得目標モデルと学習者の個人的要因の関係：KJ法を用いた分析／2±1秒の制約—音声データベースに基づくBreath Group解析

12:50-13:20：賛助会員デモンストレーション

13:30-15:00：全体シンポジウム：201, 202教室

映像メディアは英語学習の自律性・継続性を実現するか

コーディネータ：亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)

パネリスト：角山 照彦(広島国際大学)／松葉 明(名古屋市立平針中学校)／竹内 理(関西大学・LET会長)

15:10-15:25：閉会式：201教室



大会事務局から(最新のご案内は大会サイトをご覧ください。)／参加費：LET会員の方は無料でご参加いただけます。各支部受付で参加登録をし、名札をお受け取り下さい。非会員の方は当日専用受付で、当日会費3,000円(学生会費2,000円)を納入し、当日会員用の名札をお受け取り下さい。当日会員の資格は大会期間中有効です。なお、各支部受付にて入会手続きをお取りいただきますと当日会費は無料となります。／『発表要項集』：各発表の要項(ハンドアウト)を集めたものです。1部2,000円。／懇親会：大会2日目の8月7日(日)、会場校の曙館1階食堂で行います。会費は3,000円です。／昼食：大会期間中は学生食堂が営業しております。／会場への交通：会場へは公共機関をご利用下さい。参加者用の駐車場の用意はございません。

出展賛助会員一覧

財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会／セングージャーニング／株式会社 金星堂／チエル株式会社／HOYAサービス株式会社／パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社／G-TELP日本事務局／株式会社 成美堂／株式会社 エル・インターフェース／アルク、アルク教育社／文化学園アカデミックアーカイブセンター／株式会社 ダイネド ジャパン／リアル・イングリッシュ・ブロードバンド株式会社／株式会社 VERSION2／国際教育交換協議会(CIEE) 日本代表部／株式会社 教育測定研究所／株式会社 ピアソン桐原／株式会社 マクミラン ランゲージハウス／日本ビクター株式会社／株式会社 内田洋行／株式会社 アンペール／電子システム株式会社(申し込み順)